

令和2年度授業改善推進プラン

清瀬市立芝山小学校第5学年

	授業における課題や学力調査資料から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<p>基礎的な言語事項の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年までの漢字を正しく読んだり、書いたりする ・熟語や文章の意味を理解すること 読み取る力の育成 ・目的に応じて内容や要旨をとらえながら読む 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に書く活動を行い、既習の漢字を積極的に使って文章を書くことを意識させる。 ・要旨をまとめて書く活動を積極的に取り入れる。 ・国語辞典や漢字辞典を日常的に活用して語彙を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に書く活動を行い、既習の漢字を積極的に使って文章を書くことへの意識が高まってきた。 ・国語辞典や漢字辞典を日常的に活用することで語彙が増えてきた。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや表、写真などの資料を読み取り、その特徴や変化を捉え、それを記述する ・各種産業における人々の努力や工夫について、資料や体験をもとに調べたり、考えたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや表、写真などから読み取った情報をもとに、根拠や解釈を示しながら、図や文章などで表現し説明することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや表、写真などから読み取った情報をもとに、根拠や解釈を示しながら、図や文章などで表現し説明することができるようになってきた。
算数	<p>数学的な考え方の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや根拠をもとに論理的に説明したり、記述したりすること 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えたことや思考の流れを、言葉や図を使って相手に分かるように順を追って説明する活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えたことや思考の流れを、言葉や図を使って相手に分かるように順を追って説明できるようになってきた。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・予想や仮説を立て、積極的に観察や実験に取り組む姿勢の育成 ・実験結果や観察記録を図や絵、言葉でわかりやすく表現する力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験では、自らの体験や知識と結び付けて予想を立てさせ、その根拠をもたせながら取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験では、自らの体験や知識と結び付けて予想を立てさせ、その根拠を考えられるようになってきた。
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を設定し、自ら解決する方法を見つけ、追究する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決の方法をいくつか与え、選べるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決の方法をいくつか与え、選べるようになった。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって表現をするための技能の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのように歌ったり演奏したりしたいか思いや意図をもたせるような言葉かけをする。 ・様々な楽器を取り入れ、学習形態を工夫し、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて合わせる技能を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制限のある状況の中、歌唱に関しては歌声が小さくなった。歌う意欲をもたせていくことが必要である。 ・器楽に関しては、様々な楽器に触れ、意欲的に合奏することができた。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・道具や材料などの扱い方を習得し、用途に応じて自分なりに使い分けられる力の育成 ・テーマを理解して、自分なりの発想で表現を工夫しようとする力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで使っていた絵の具やパスなどの描画材・彫刻刀やベンチなどの応用的な使い方について学ぶようにする。 ・思いを話し合って共有したり、途中経過でアイディアを交換したりする時間をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な道具の使い方は正しくできるようになってきた。準備や片付けの場面で自主的にできないことがあり、見直しをもって活動できるようにしていく。 ・友達のやりかたに関心をもつ一方で自分の考えに自信がもてない児童もいた。経験を積み重ね自信をもてるようにする。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活に必要な基礎的知識、技能の習得とその活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを家庭で実践できるように、児童の生活実態と関連した課題の出し方やワークシートを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを家庭で実践しようとする意欲が高まった。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のためにどのような練習をすればよいか考え、工夫して取り組む力 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題を的確に捉えられるよう学習カード等を活用し、自分の課題にあった場を使って、意欲をもって取り組めるように計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題を的確に捉えられるようになり、課題解決への意欲が高まった。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・キーフレーズの定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に外国語にふれたり、スモールトークなどの活動を通して繰り返し既習表現を発話したりする機会を設ける。 ・デジタル教材を活用して発音を繰り返し練習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に外国語にふれることで、既習表現を発話しようとするようになった。 ・デジタル教材を活用することで発音が向上した。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・生活体験や話し合いの経験 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の教科や総合などで経験させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の教科や総合などで経験させることで道徳的価値観への気付きが増えた。